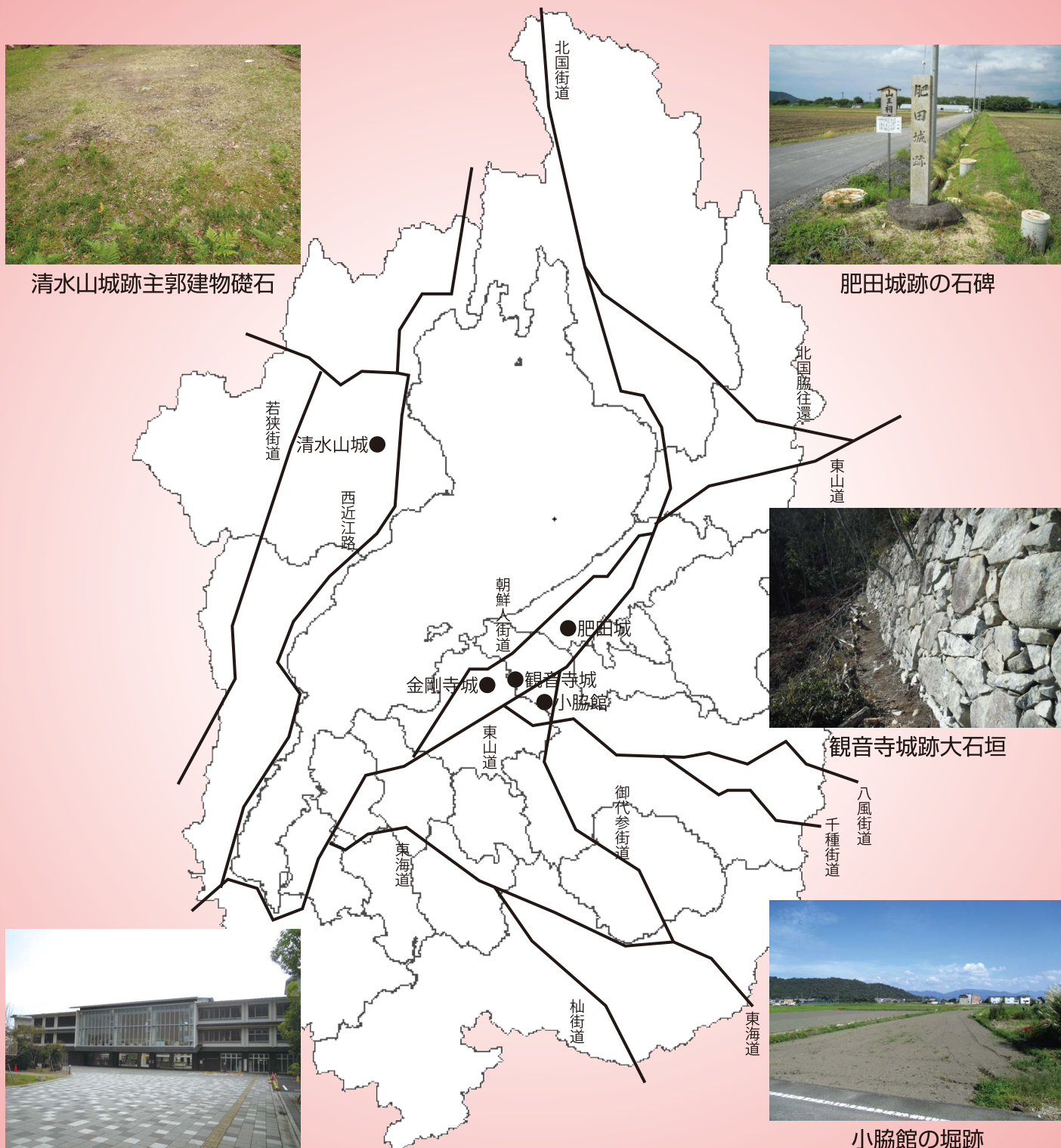


戦国近江と六角氏の城



清水山城跡主郭建物礎石



肥田城跡の石碑



観音寺城跡大石垣



小脇館の堀跡



金剛寺城の跡地に建つ
金田小学校

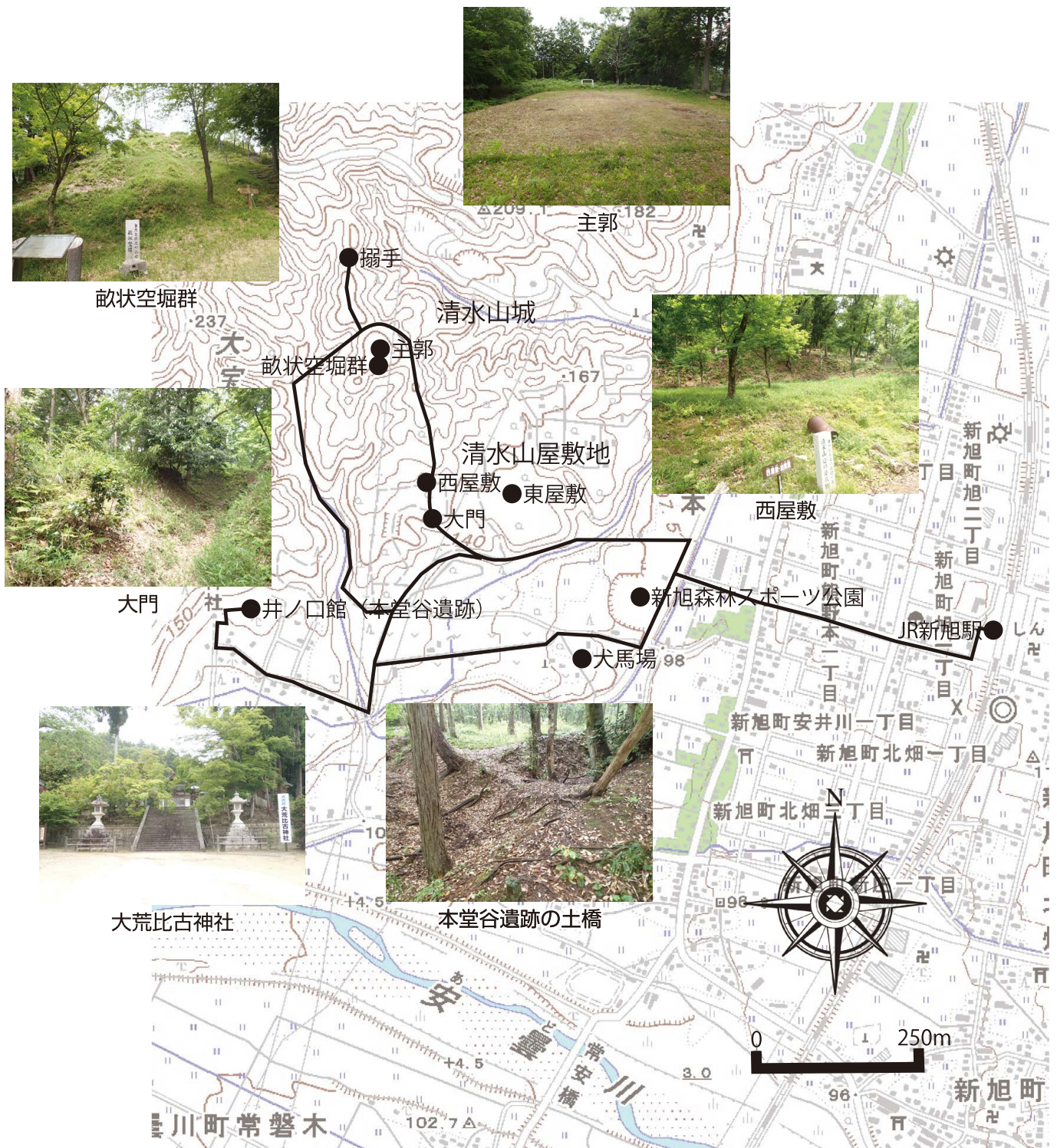
戦国近江と六角氏の城 関連地図

発行：令和4年7月17日
編集：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課
安土城・城郭調査係
〒520-8577
滋賀県大津市京町四丁目1番1号
TEL077-528-4678 FAX077-528-4956
Mail castle@pref.shiga.lg.jp

◆ コース 1 史跡清水山城館跡（高島市）

清水山城は、中世の高島郡に割拠した「高島七頭」の惣領家、高島氏の居城だと考えられています。城は、饗庭野丘陵の南東端付近、安曇川の広大な扇状地の扇央部付近に築かれました。高島平野を一望できる主郭を中心に、周辺の尾根上に郭が配されており、大規模な堀切や連続空堀群などで防御を固めています。山腹の「西屋敷」「東屋敷」「大門」「大手」の地名が残るあたりには、土塁で囲まれた数多くの郭があり、一族や家臣の屋敷地であったと考えられています。また山麓には「犬馬場」「御屋敷」の地名が残り、領主の居館があったと考えられています。

城の南西麓には、高島氏の氏神である大荒彦神社がありますが、その西側一帯に土塁や堀で区画された平坦地が残る本堂谷遺跡があります。どのような性格の遺跡なのかは不明ですが、「大宝寺」と呼ばれる寺院との関連が推測されています。



◆ コース2 肥田城跡（彦根市）

肥田城は、大永年間（1521～1528）、高野瀬隆重が六角定頼の命で築いたといわれています。しかし高野瀬秀隆の時、浅井長政の調略を受け、六角義賢から寝返りました。これに激怒した義賢は、永禄2年（1559）、2万5千の兵で肥田城を攻め、城の周囲に土塁を築き、宇曾川・愛知川から水を引き入れ、城を水攻めにしました。しかし、大雨で土塁が決壊し、水攻めは失敗に終わります。この後、六角義賢と浅井長政が野良田で戦い、浅井長政が勝利した結果、六角氏の勢力が弱まっていくきっかけとなりました。

現在城の遺構は確認できませんが、水攻めの痕跡を見ることができます。



肥田城跡石碑



江戸期の土塁状遺構



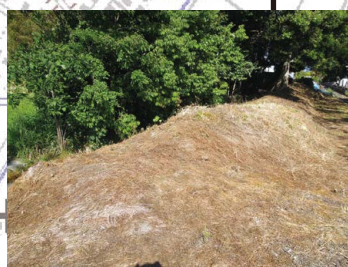
歴代肥田城主の
陣提寺・崇徳寺



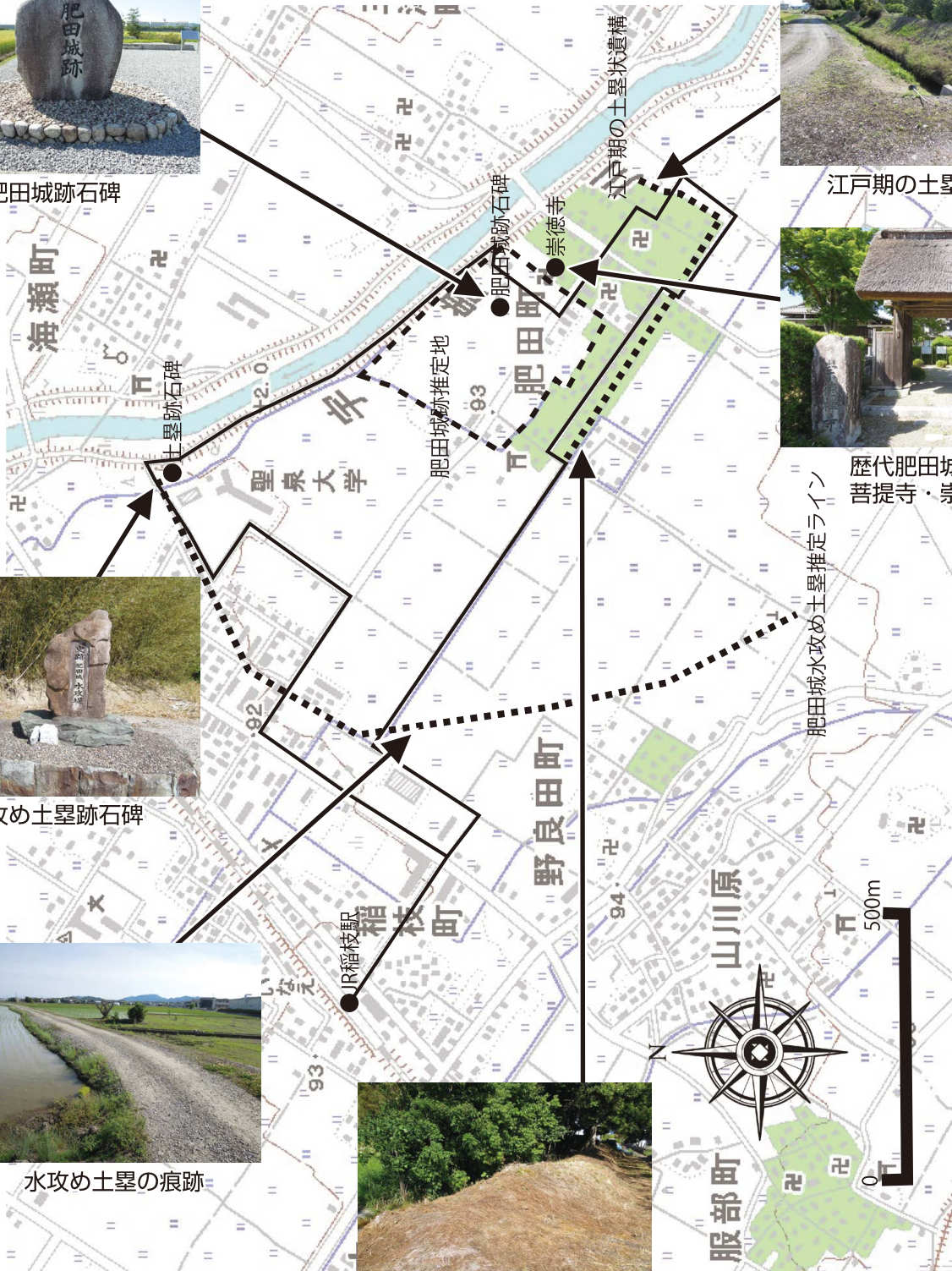
水攻め土塁跡石碑



水攻め土塁の痕跡



江戸期の土塁状遺構



◆コース3 史跡観音寺城跡（近江八幡市・東近江市）

観音寺城は、中世近江を統治した守護六角氏の居城です。六角氏ははじめ、小脇（東近江市）に館を構えましたが、後に金剛寺（近江八幡市）に館を移し、その後観音寺城を居城としました。城は、東山道の北に位置する標高432mの織山に築かれました。山の南斜面いっばいに郭が広がり、南麓の平地には城下町石寺があります。当初は、山麓の居館（伝御屋形跡）を拠点としていたようですが、16世紀後半には山上部に拠点を移します。安土城以前の城としては例外的に石垣が多用されているところが特徴的ですが、その中には築城以前から建っていた観音寺（観音正寺）の石垣が含まれていると考えられます。



伝平井丸虎口



観音正寺本堂



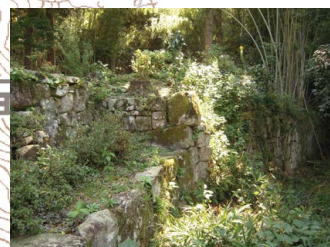
伝御屋形跡高石垣



大石垣



伝池田丸



桑実寺正覚院跡



重要文化財桑実寺本堂